

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

患者さんに良質で 安心な医療を 提供します 医学・医療技術の 研鑽に努め、 最新の医療を提供します 地域福祉の向上と、 疾病予防策を 実践します

風通しの良い、 明るく働きがいのある 健全な職場を目指します

📭 新年のご挨拶

- **p.5** 部署紹介(外来)
- p.6 第 6 回柳川病院健康まつり
- p.7 体を温めてくれる食事のポイント



新年のご挨拶







理事長 日名子 泰通

明けましておめでとうござい ます。

皆さまにおかれましては、お 健やかに新春をお迎えのことと

お慶び申し上げます。

日頃から当院の運営に際しましては、地域の皆様、地元医師会をはじめとする医療機関及び行政機関の皆様にご支援頂き、感謝申し上げます。

さて、昨年7月、九州北部豪雨により近隣地域において多くの被害が発生しました。柳川市でも平成24年7月には豪雨により河川堤防決壊し、甚大な被害を受けています。当院は柳川市の指定緊急避難場所であり、救急指定病院であることから、改めて地域の基幹病院としての使命を感じさせられる出来事となりました。

また、医療業界では、2025年までに団塊の世代が後期高齢者になり、介護・医療費等の社会保障費が急増することが懸念されています。本年4

月には診療報酬と介護報酬の同時改定が行われ、 今後の医療・介護施策において極めて大きな節目 となる年になります。

このような背景を踏まえますと、当院の地域医療に対する役割は今後ますます大きくなるものと思われます。私共は基本理念の「地域に親しまれ信頼される病院を目指します」を踏まえ、職員一人一人が安心・安全な医療の提供に取り組むことにより、地域に貢献していくことが使命だと考えています。

本年も患者さまを始め、ご家族の皆様及び関係 機関の皆様のご期待に添うべく、安心と満足の医療を提供できるよう職員一同努力して参りますの で、より一層のご厚誼を賜りますようお願い申し 上げます。

最後になりましたが、本年が皆さまにとって良い年となりますよう祈念し、新年のご挨拶と致します。



理事長代行 嘉村 敏治

新年、明けましておめでとう ございます。

本年は柳川病院が福岡県から 財団へ委譲され私立病院の仲間

入りをして12年目を迎えます。干支で言いますと一回り目が終わり二回り目に入る節目です。この間病院の新築、新規診断機器の導入、電子カルテの導入を始めとして、新たな診療施設としての体制を整えてきました。一方50年の長きにわたり県立病院が目指してきた「地域に親しまれ信頼される」という精神は当院に受け継がれています。

当院は内科系診療科とともに外科系診療科を有する総合病院として地域の急性期医療の一端を担わせていただいております。一般内科、外科的診療に加え、特徴的な診療としては、消化管内視鏡による早期胃がんや大腸がん手術、心筋梗塞のカ

テーテル治療、重症不整脈のアブレーション治療、 胃、大腸、子宮や卵巣疾患の腹腔鏡手術などの低 侵襲手術を行っています。また乳がん、婦人科がん、 皮膚がんなどの悪性腫瘍手術、心臓手術など数多 くの疾患に対応しています。地域の開業医の先生 方や介護施設からのご紹介も多く、救急車搬入件 数も年間約800件を数えています。

高齢者が増加し医療財政がひっ迫する中、今年は医療・介護の一体改革が行われる年になり、保険医療を取り巻く状況は必ずしも良好ではありません。しかし限られた医療資源の中で、柳川病院は地域の皆様のニーズに応える急性期病院として、今後も質の高い医療を提供し、ご期待に沿っていけますように職員一同頑張って参ります。

本年が皆様にとりまして、佳き年となりますよ う心からお祈り申し上げます。











院長 於保和彦

明けまし<mark>て</mark>おめでとうござい ます。

皆さまには健やかに新年をお 迎えのことと、こころよりお慶

び申し上げます。

昨年は米国にトランプ大統領が誕生し、アメリカファーストを合言葉にした政策により、世界中が混乱に陥っています。我が国においても何とかファーストというスローガンを掲げた政党が国政選挙に打って出て、野党を混乱に陥らせました。どうも世間の風潮として自分ファーストがまかり通っているような気がしてなりません。柳川病院の理念とするところは「地域に親しまれ、信頼される病院を目指す」です。言うなれば患者さんファースト、地元ファーストであります。当院だけの繁栄を目指さず、地域全体の医療を良くすることが中核病院としての当院の目標でもあります。

さて、今年は戌年です。戌年の「戌」には草木 が滅ぶという意味がありますが、これは次に進む ための新しいステップ、あるいは新しいものが誕生する前触れであると解釈することができます。柳川病院は今年で福岡県から現在の財団に移譲されて12年目を迎えます。十二支でいえば一巡することになります。また本年4月には診療報酬・介護報酬のダブル改定が行われます。医療機関としては厳しい改定になると思われますが、柳川病院は柔軟に対応して次の亥年に繋げていきたいと思います。

地域の皆様が欲する急性期医療を提供していく ことこそが当院の社会的責任であると考えており ます。職員一人一人がその責任を自覚し、地域の 医療に貢献できるよう努めて参りますので、今後 ともどうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申 し上げます。

最後になりましたが、2018年が皆様にとって 希望に満ち溢れた年となることを祈念して、新年 のご挨拶とさせていただきます。





新年あけましておめでとうご ざいます。

皆様には、健やかに新年を迎 えられたことと、お慶び申し上

げます。

近年、手術を受けられる患者様の平均年齢が高くなっており、それだけ元気なご高齢者が増えたということと思います。

今後も患者様の健康のためのお手伝いができればと思い、日々努力していきます。

今年も宜しくお願い致します。

[2017年手術数]

	全例	(腹腔鏡)
胃	14	(11)
大 腸	45	(34)
虫 垂	13	(13)
胆囊	35	(31)
ヘルニア	38	(31)
膵	2	
乳腺	25	
イレウス、腹膜炎など	13	(3)
肛門疾患	1	
その他	52	
全手術数	238	(123)
至于州 <u></u>	238	(123)

新年のご挨拶







看護部長 井上 由美子

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、健 やかに新年<mark>を</mark>お迎えのこととお

慶び申し上げます。

看護部長に就任してから今年で3年目を迎えます。これまで、看護職員の定着と質の向上に努めてまいりましたが、特に昨年は看護師長の育成や認知症ケア研修、医療安全研修に、院内、院外研修を通して取り組むことが出来ました。また、育休明け看護師の復帰により、充実した人員のもと働き続けられる職場づくりを目標に、短時間雇用などの子育て支援に取り組みました。

九州北部豪雨災害においては、柳川病院より「災害支援ナース」を派遣し、被災者の方々に少しなりともお役に立つことが出来ました。さらに、東京モダンホスピタルショーにおいて「看護のアイデア de 賞・準グランプリ」を獲得することができ、東京ビックサイトでの授賞式に加え、西日本新聞

への掲載など、チャレンジしたことが実った1年 でもありました。

今年は、診療報酬の改定など医療を取り巻く環境は厳しいと思いますが、柳川病院が地域の急性期病院として、しっかり役割を果たせるよう、看護部も教育体制の強化と人材育成に力を入れ、看護の質の向上に努めて参りたいと思います。「地域から親しまれ、信頼される病院を目指します」の理念のもと、患者様に「柳川病院の看護師さんは、信頼できます」と言って頂けるよう、一人ひとりが知識、技術、人間力を高め、仕事を通して成長できる組織作りや支援体制を整えていきたいと考えています。

看護部長就任3年目を迎える今年も、チャレンジ精神を忘れず患者様に喜んで頂けるような、看護サービスを提供できるよう努力して参ります。

最後になりましたが、2018年が皆様にとって 素晴らしい1年となることを祈念して、新年の挨 拶と致します。



事務部長 西田 政宏

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには良き新年をお迎え のこととお慶び申し上げます。

平成30年となりました。振り返りますと災害が多い時代でした。一昨年の熊本大分地震と昨年の九州北部豪雨は大きな被害となりました。当院も支援に参加いたしましたが、災害時にも医療を継続できるよう、今後も備えを進めなければなりません。

本年は新病院建築時に導入された電子カルテが 更新されます。全システムの更新ではありません が、より進歩した診療情報の管理とネットワーク を構築します。同様に医療機器も更新時期を迎え ており整備を進めなければなりません。

一方急性期医療・救急医療を支えるスタッフは、 看護やコメディカル部門を含め人材確保と育成そ して活用に不断の努力が必要です。今後も基本方 針の「風通しの良い、明るく働きがいのある健全 な職場」を目指して参ります。

さて、診療報酬と介護報酬の同時改定の年を迎えました。医療介護の需要が最大となる 2025 年に向け、地域医療構想は一部で病床機能の転換が始まり、介護も「新たな介護保険施設」の導入や在宅医療との連携が推進されています。

まだ病床機能分類の方法や介護の人材不足、自治体間の協力など多くの課題はありますが、地域でも動き出しました。柳川市も「ケアマネージャーと主治医連携」を始めました。「医療と介護」また「病院・施設と在宅」の連携は益々重要になってきました。

このような中、「地域から親しまれ信頼される病院」を目指して事務部門もチーム医療の一員として役割を果たして参ります。

本年が皆様にとりまして、良い一年となります ことを祈念し新年のご挨拶といたします。

部署紹介(外来)

病院の顔"とも言われる外来。。。



私たち外来スタッフは、通院患者さんの 診療補助、採血や注射、創傷の処置、検査 説明や案内、救急搬送の受け入れ対応、通 院での化学療法、各検査の介助、また電話 対応も重要な業務のひとつであり、担当科 だけにとどまらず様々な業務を担っている 部署です。

様々な役割を担うにあたっては、多くの 看護知識、技術を求められるため日々、ス タッフ間の情報共有を行い見直し、改善す る努力をしています。

入院中の患者さん対応とは異なり、スタ ッフが必ずしも患者さんの状態をすべて把 握しているというわけではないことも外来 の特徴のひとつです。外来スタッフの対応 が、そのまま病院の印象につながるという 事を念頭に置き短い関わりの中でも『患者 さんの立場に立ったコミュニケーション』 を心がけています。

現在私たちは救急車で運ばれてくる患者 さんに対応するための知識、技術向上を

実際に救急対応をしていて疑問や不安に思 うこと、症例頻度が高い処置の手技確認、 また救急時に使用される薬品知識を深める ことで、正確かつ迅速な医療・看護の提供 が行えるよう、机上の学習だけでなく、実 際に現物を手にとり、感触を確かめ、色や 音を感じ、その技術訓練が実際現場で活か せるような取り組みも行っています。

また、自宅療養と医療機関のかけ橋とも なるよう、地域連携など各コメディカル部 門との連携もとりながら患者さん個人に応 じた提案が行っていけるような体制も取っ ています。

今後も、スタッフ個人個人が自己研鑽に 勤め、当院を頼りにして頂けるように日々 努力していきます。





(外来 髙田稚子)

第6回 柳川病院健康まつり

第6回柳川病院健康祭り実行委員長

樋口

2017年11月11日(土)に第6回柳川病院健康まつりを開催しました。

当日は天候に恵まれ、150名を超える地域の皆様にご来場頂きました。

健康まつりを開催するにあたっては、多くの皆様のご協力を頂きまして感謝と 共に改めてお礼申し上げます。

当日は、日向ひょっとこ踊りちっご愛好会の皆様による、 ひょっとこ踊りを披露して頂きました。踊りを観る皆さん、 どなたも笑顔で楽しまれていました。





また今年は JA 柳川さんのご協力の もと、新鮮な野菜等の直売会も開かれ、 大盛況でした。



今後も柳川病院は地域に親しまれる 病院を目指して頑張ってまいります。 今後ともよろしくお願いいたします。

体を温めて<れる食事のポイント

栄養科より

あけましておめでとうございます。 体調が崩れやすい寒い毎日が続いています。

ここで、寒い冬におススメの身体を温めてくれる食材や調理法について紹介します。 毎日の食事に取り入れて、寒さに負けない身体作りしましょう。

1、身体を温める食材と冷やす食材について

	身体を温める	身体を冷やす
特徴	・寒い所で収穫される・冬が旬・土の中で育つもの・黒っぽい物、色が濃い物	・温かい所で収穫される・夏が旬・土の上で育つもの・白っぽい物
穀類	・玄米 ・小豆 ・黒豆	・小麦 ・白パン
肉類・魚介類	・牛、鶏、羊肉 ・マグロ、さんま、さけ	・うなぎ・かに
野菜類	・人参、かぼちゃ ・レンコン、大根 ・白菜 ・生姜、にんにく ・ニラ、ねぎ	・きゅうり ・トマト ・なす ・おくら ・もやし
果物	・栗 ・桃 ・プルーン	・すいか ・みかん ・梨 ・バナナ ・パイナップル

表のように身体を温める食べ物、冷やす食べ物がありますので、

特に、冬は身体を温める食べ物を心がけて摂るようにしましょう。

また、身体を冷やしてしまう食べ物は、調理する際に工夫をして食べるようにしましょう。

2、身体を温める調理のポイント

① 加熱(煮る・蒸す・焼く・揚げる)したものを、温かいうちに!!

→生野菜は温野菜へ調理法を変えるなど、温かい食べ物飲み物を摂るようにしましょう。 また温かいうちに食べられるように片栗粉でとろみを利用することで、料理を冷めにく くします。

② 香辛料や薬味を利用!!

→唐辛子(カプサイシン)やねぎ、にんにく (アリシン)、生姜(ショウガオール)など の辛味成分は、血行・発汗を促進し、身 体を心から温めると言われています。

注音

甘くて冷たいデザート の摂りすぎに注意… 体温調節や血行を悪くし、 身体を冷やしてしまい ます。 受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30~11:00

午後 13:00~16:00[血液内科(水)]

13:30~16:00[脳神経外科(金)]

※急患については、この限りではありません。

- ※ 都合により診察日・時間が変更になる場合がございます。 確認のうえご来院ください。
- ※ お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、 午後からのお電話にご協力お願い致します。
- ※「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担!	当医表		月	火	水	木	金	土
内 科 消化器内科	午前	新患 再来	於保和彦 菅 偉哉 島松 裕	垣内 誠也 菅 偉哉 平塚 潤	平塚潤於保和彦島松裕	菅 偉哉 平塚 潤	島松 裕 於保和彦 垣内誠也	担当医 垣内 誠也
血液内科	午後				野波 篤			
肝臓外来 (第2土曜日)	午前	(下記※1参照)						宮島一郎
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保和彦					
内分泌代謝内科	午前	新患·再来			吉信 聡子	永山 綾子		廣松 雄治
甲状腺外来 糖尿病外来	午後	再来(予約)			吉信 聡子	永山 綾子		
循環器内科	午前	新患	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	נים ו	再来		松本 徳昭	野原夢	吉岡励	野原正一郎	(急患のみ)
心臓血管外科	午前			土井 一義		土井 一義		
外 科 消化器外科	午前	新患•再来	貝原 淳	岐部 史郎	貝原 淳	溝部 智亮	貝原 淳	担当医
乳腺外科	1 133	再来	溝部 智亮				岐部 史郎	
整形外科	午前	新患•再来	野崎修	水田和孝	水田 和孝	野崎修	野崎 修 (第2.4.5) 水田和孝 (第1.3)	野崎 修 (第1.3) 水田和孝 (第2.4.5)
産婦人科	午前	新患•再来	高橋 俊一	嘉村 敏治	高橋 俊一	嘉村 敏治	上杉 佳子	
		再来		高橋 俊一		高橋 俊一	(高橋俊一)	休 診
	午後		アンチエイジング診療(予約制)					
皮膚科	午前		辛島正志	辛島 正志	休 診	辛島 正志	辛島正志	辛島 正志
泌尿器科	午前			林秀一郎		植田 浩介		西原 聖顕 (第1.3.5) 植田 浩介 (第2.4)
脳神経外科	午後						緒方敦之	
健診センター	午前		喜多奈穂	喜多奈穂	岩本元一	喜多奈穂	喜多奈穂	
検査担当医表		月	火	水	木	金	±	
放射線科	午後				小金丸雅道			
専門エコー外来	午後						黒松 亮子	
内視鏡検査	(下	記※2参照)	担当医 向笠 道太	担当医	担当医 城野 智毅	担当医 渡辺 靖友	担当医	

^{※1} ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。

柳川病院(代表) TEL 0944-72-6171

からたち第38号 発行/2018年1月 編集/柳川病院広報委員会 発行者/一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院 〒832-0077 福岡県柳川市筑紫町29番地 TEL0944-72-6171 (代表) FAX0944-72-2092 http://www.yanagawa-hsp.jp/

^{※2} 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。